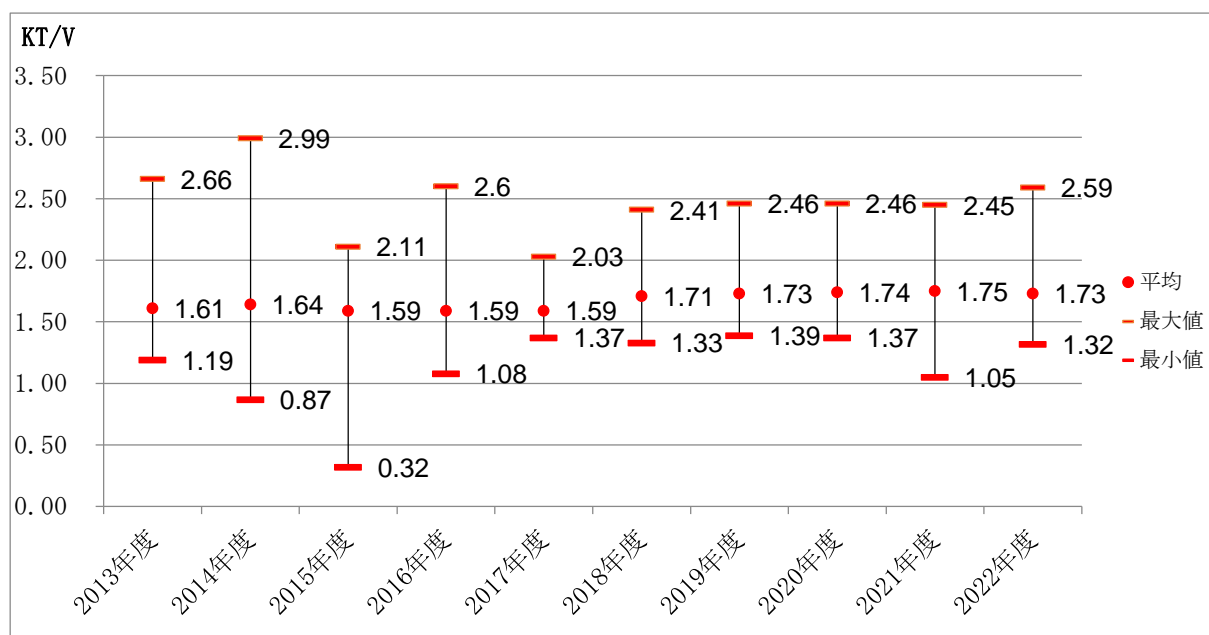


維持透析患者の透析効率



日本透析医学会のガイドラインでは、最低限の尿素透析量として $Kt/V1.2$ が推奨され、目標とすべき尿素透析量としては $Kt/V1.4$ 以上が望ましいとされている。十分に高い Kt/V を維持することで、患者の生命予後のみならず、合併症予後も改善することが期待される。2022年度の当院の維持透析患者の Kt/V 平均値は1.73であり、高い透析効率を維持している。当院では毎月 Kt/V を算出し1.4未満であった場合は、多職種によるカンファランスにて血液流量、血液浄化器、透析時間等の透析条件を見直し、透析効率の向上に努めている。

2022年度より超音波診断装置を導入し、バスキュラーアクセスの形態学的評価を開始した。それによって、十分な血流が得られるよう穿刺位置を変更したり、バスキュラーアクセス不良となる前に適切な処置（血管拡張術、再建術等）を施したりしたことで、適正な Kt/V 値が確保できていると思われる。

患者の高齢化に伴い栄養状態が懸念されるため、今後は栄養士による栄養指導を取り入れ、栄養評価の面からもADL向上に貢献していきたいと考えている。

データ提供 血液浄化センター